



# ともしび

— TO MO SI BI — 第347号

2025(令和7)年3月号

## 「花粉症もご縁でした」

春は、もうすぐかな？と感じ始める啓蟄(けいちつ)の候、みなさん、いかがお過ごしですか。

この季節になると、私は毎年、花粉症に悩まされます。

花粉症は、花粉が持つアレルギー物質が目・鼻・ノド等の細胞表面に付着して発症しますが、実は花粉自体は割と大粒で、そのままでは細胞に付着できず花粉症は発症しません。ですが、空気中を漂っているうちに、温度や湿度・大気汚染物資などが影響して花粉が破裂し、より細かい粒になり細胞に付着すると、花粉症が発症するのだそうです。温度・湿度・大気汚染が花粉症のご縁になるのです。ご縁とは平たく言えば条件のことです。私たちの命もご縁が揃ったおかげでいただけているのです。

## 仏事のおさらい

いはい かこちよう

### 位牌ではなく過去帳を

ご存知かもしれませんが、浄土真宗は位牌「いはい」を使いません。そもそも位牌というのは、中国の儒教で用いられていたものです。儒教では、亡くなった人の生前の官位や姓名を書き記した板に死者の魂が宿ると信じられ、その板を祀ったり拝んだりしたのだそうです。

日本には平安時代から鎌倉時代のころに禅宗とともに伝わり、日本古来の祖先崇拜と結びついて江戸時代に広がりしました。その影響もあって、位牌は死者を祀るものとしてお仏壇に入れる方が多いのです。

しかし、浄土真宗では、位牌を仏壇に祀ることも拝むこともしません。もともと仏教とは関係の

ないものですし、官位などの位が書いてあるということは位の上下があるということですから。浄土真宗は、皆が平等に救われる教えですから位の上下があるものは教えにそぐいません。

それでは故人を偲ぶ拠り所がないかという点、そんなことはありません。過去帳をお使いください！過去帳は先祖の記録帳のよくなもので、故人の法名・俗名・亡くなった年月日などを記しておきます。そして、法事や命日などの時にその部分を開いて過去帳台に置いてお参りします。ただし、手を合わせる対象は、あくまでも阿弥陀如来なので仏さまが隠れないように、仏壇の下段に置きます。もちろん、**過去帳の前に水やお供え等は置けません**。法事や命日以外の時は閉じて仏壇の右側に置きます。ご不明な点は、東久留米分院へお尋ねください！

# 2月の行事報告

## 常例法座・お経の読み方を学ぼう

2月9日(日) 午後1時～

法話:安藤秀明 師(新潟県 福勝寺)

お経の会:伊藤主管

当日は、12名の方が参拝され、とても珍しい法話に会っていただきました。

実は、この日の講師の安藤先生は人形布教の名手でした!

先生は、全国のお寺の法要や子供会などで人形を使った布教を多数行って、いつも忙しく全国を飛び回っておられます。

この日は、たまたま予定が空いているとのことで、ご無理を言ってお越しいただきました。

参拝の皆様が、先生の操る人形とお話に引き込まれていくのが感じられる、白熱の法座となり「とても良かった」「分かりやすかった」「また来てもらいたい」などの声をいただきました。

その後に行った「お経の読み方の会」は、お勤めの「キホンのキ」読み方のルールについて、お伝えしました。基本的すぎて誰も教えてくれないようなことですが、だからこそ「知らなかった!」ということもあったようです。

これからも、丁寧に分かりやすくを心がけていきますので、是非ご参加ください!



安藤先生の白熱人形法話



2月がお誕生日の方と

# その他のお知らせ

## 東久留米分院からのお知らせ

### よくある質問

Q: 法要や葬儀は、遠方でも来てもらえますか？

A: はい、東久留米分院は東京教区内（東京・神奈川・埼玉・千葉・茨城・栃木・群馬・山梨・静岡）であればどこでも伺います。

Q: 故人が法名を持っていません。葬儀の時やその後に法名をいただくことはできますか？

A: 可能です。本来は、先月の「ともしび」にも書いたとおり、生前にいただくものですが、そのご縁がなかった方には、亡くなった後に法名を授けることができます。ただし、葬儀の時と、それ以降で法名のいただき方が異なりますので、東久留米分院にご僧談（ご相談）ください。

## 奉讃会からのお知らせ

3月の「東久留米分院 清掃奉仕活動」は3月2日（日）です。

毎月第1日曜日に行っている東久留米会館の清掃奉仕活動ですが、3月は3月2日（日）の8時～10時を予定しております。

参加人数が多くなれば美化できる範囲が広がり、私たちの東久留米分院が一層キレイに美しくなります！

みなさんで力を合わせて東久留米分院の美化をいたしましょう！

[奉讃会 会長:熊谷 武]

# 東久留米分院の 行事案内

—Schedule—

## ▶ 3月の行事予定

### 御命日晨朝 総参拝

3月16日(日) 午前7時～

月に1度の親鸞聖人御命日に、私たちと一緒に朝のお参りをして、スッキリした1日をスタートしませんか？

参拝された方には、お供物をお渡しいたします。

### 春季彼岸会(春のお彼岸)

3月20日(木祝) 午後1時～

法話: 赤川浄友 師(神奈川県 恵光寺)

お彼岸法要の法話講師は「歌うお坊さん」赤川浄友師です! 歌と笑いを織り交ぜながら仏さまやお彼岸のお話をいたします。

過去帳をお持ちいただきましたら、法要の際に仏前に奉呈してお勤めいたします。

## ▶ 4月の行事予定

### 灌仏会(はなまつり)

4月13日(日) 午後1時～

法話: 岡本 信悟 師(東京都 大恩寺)

灌仏会(かんぶつえ)とは、お釈迦様の誕生を祝う法要です。お釈迦さまは、ネパールの「ルンビニ」という場所にある花園で誕生したと言われていることから別名「はなまつり」とも言います。

## 先月のご進納

【お仏飯米】

山下 肇様 近藤 敏之様

(順不同)

誠にありがとうございました。

## 編集後記

いつも「ともしび」をお読みいただきありがとうございます。

巻頭にも書きましたが、今年も私の体は花粉の影響を受け、ある日突然声が出なくなりました。声がカスカスで、お勤めはおろか普通の会話も出来ないような状態になりとても焦りました。今は少しずつ復調してきましたが、普段何げなく出来ていることが出来ないのは不便だなあと思うとともに、声が出るのも・体が動くのも・目が覚めるのも・命があるのも当たり前ではなく、ありがたいことなのだと思感したことです。

(伊藤)

東久留米会館会報「ともしび」

通刊 347号

発行日 2025年3月1日

発行者 伊藤 法友

住所 東京都東久留米市柳窪5-8-30

電話番号 042-474-6787